

## 持ち直しの動きがみられる

(前回:横ばいとなっている)

生産は持ち直しの動きがみられる。輸出は2か月ぶりの増加。個人消費は一部に持ち直しの動き。  
雇用は求人改善傾向は続いているものの、一部に厳しさがみられる。

## ■ 11月生産:持ち直しの動きがみられる

(10月:横ばい傾向であるが、弱含んでいる)

- 鉱工業生産指数 100.5  
前月比 +7.9% (4か月ぶり)  
前年同月比 +2.0% (3か月ぶり)
- 全13業種中、上昇は10業種  
電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業 等
- 低下は2業種  
パルプ・紙・紙加工品工業 等
- 横ばいは1業種

(出所:九州経済産業局)

## ■ 11月輸出:増加(2か月ぶり)

(10月:減少)

- 輸出額 6,313億円  
前年同月比 +19.2% (2か月ぶり)
- 主要品目  
自動車 1,025億円 ▲27.8% (3か月連続)  
電子部品 975億円 +34.7% (5か月連続)  
鉄鋼のフラットロール製品  
632億円 +83.8% (13か月連続)
- 国別  
中国 1,493億円 +1.0% (4か月ぶり)  
米国 612億円 ▲17.1% (2か月連続)  
韓国 1,066億円 +92.7% (16か月連続)

(出所:門司税関)

## ■ 11月個人消費:一部に持ち直しの動き

(10月:横ばい傾向)

- 百貨店・スーパー販売額(全店)  
1,335億円 前年同月比 +1.8% (2か月連続)
- コンビニ 958億円 ▲2.2% (3か月ぶり)
- 家電大型専門店 261億円 ▲11.1% (2か月連続)
- ドラッグストア 548億円 ▲3.6% (10か月連続)
- ホームセンター 282億円 ▲4.8% (6か月連続)
- 新車登録台数 30,197台 ▲15.0% (6か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

## ■ 11月雇用:求人改善傾向は続いているものの、一部に厳しさがみられる

(10月:求人改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる)

- 有効求人倍率 1.18倍  
前月比±0.00ポイント(横ばい)
- 新規求人倍率 2.02倍  
前月比±0.00ポイント(横ばい)
- 新規求人数  
医療・福祉、卸売業・小売業、建設業、製造業、宿泊業・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

## ■ 業況:改善

- 12月の業況DI (%ポイント)  
全産業 ±0 変化幅+7  
製造業 +1 変化幅+4  
非製造業 ▲1 変化幅+9
- 先行き(3月)  
全産業 +4 変化幅+4  
製造業 +8 変化幅+7  
非製造業 +2 変化幅+3

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

## ■ 設備投資:増加

- 20年度(実績)  
全産業 ▲15.6%  
製造業 ▲13.1%  
非製造業 ▲19.8%
- 21年度(計画)  
全産業 +29.6%  
製造業 +34.2%  
非製造業 +21.3%

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

## ■ 11月住宅建設:増加(9か月連続)

- 新設着工戸数 8,051戸  
前年同月比+28.5%  
(9か月連続)
- 持家 2,759戸  
+7.1% (9か月連続)
- 貸家 2,918戸  
+13.3% (6か月連続)
- 分譲 2,332戸  
+113.7% (10か月連続)

(出所:国土交通省)

## ■ 11月公共投資:減少(2か月ぶり)

- 工事請負金額 968億円  
前年同月比 ▲11.3% (2か月ぶり)
- 発注者別前年同月比  
国 ▲56.9%  
独立行政法人等 +114.7%  
県 ▲0.3%  
市町村 ▲2.6%

(出所:西日本建設業保証株)

## ■ 11月倒産:減少(2か月ぶり)

- 倒産件数 37件  
前年同月比 ▲17.8%
- 負債総額 49.8億円  
▲7.6% (2か月ぶり)
- 業種別件数(前年同月比)  
製造業 1件 (▲88.9%)  
卸・小売業 14件 (+7.7%)  
建設業 8件 (±0.0%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。

# 九経マンスリー (2021年11月)

2022年1月17日  
九州経済産業局

今月の管内経済動向: 九州地域の経済は、持ち直しの動きがみられる

生産は持ち直しの動きがみられる。輸出は2か月ぶりの増加。個人消費は一部に持ち直しの動き。雇用は求人改善傾向は続いているものの、一部に厳しさがみられる。

概 況	九州の主要経済指標(2021年11月)																		
<b>1. 生産動向</b> 11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、100.5となり、前月比が+7.9%と4か月ぶりの上昇となった。前年同月比は+2.0%と3か月ぶりの上昇となった。	<b>■生産動向【九州経済産業局】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前月比</th> <th>前年同月比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産指数</td> <td>100.5</td> <td>7.9</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>(参考)出荷指数</td> <td>92.4</td> <td>7.7</td> <td>▲3.2</td> </tr> <tr> <td>在庫指数</td> <td>96.9</td> <td>0.3</td> <td>▲2.7</td> </tr> </tbody> </table>					前月比	前年同月比	生産指数	100.5	7.9	2.0	(参考)出荷指数	92.4	7.7	▲3.2	在庫指数	96.9	0.3	▲2.7
	前月比	前年同月比																	
生産指数	100.5	7.9	2.0																
(参考)出荷指数	92.4	7.7	▲3.2																
在庫指数	96.9	0.3	▲2.7																
<b>2. 設備投資動向</b> 2021年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比+34.2%、非製造業は同+21.3%、全産業は同+29.6%と前年度を上回る見込み。	<b>■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2021年度計画)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全産業</td> <td>▲15.6</td> <td>29.6</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>▲13.1</td> <td>34.2</td> </tr> <tr> <td>非製造業</td> <td>▲19.8</td> <td>21.3</td> </tr> </tbody> </table>					2020年度	2021年度	全産業	▲15.6	29.6	製造業	▲13.1	34.2	非製造業	▲19.8	21.3			
	2020年度	2021年度																	
全産業	▲15.6	29.6																	
製造業	▲13.1	34.2																	
非製造業	▲19.8	21.3																	
<b>3. 貿易動向</b> 11月の輸出額は、前年同月比+19.2%と2か月ぶりの増加。輸入額は+69.8%と8か月連続の増加となった。	<b>■貿易動向【財務省】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>輸出通関額</td> <td>6,313億円</td> <td>19.2</td> </tr> <tr> <td>輸入通関額</td> <td>6,290億円</td> <td>69.8</td> </tr> </tbody> </table>				輸出通関額	6,313億円	19.2	輸入通関額	6,290億円	69.8									
輸出通関額	6,313億円	19.2																	
輸入通関額	6,290億円	69.8																	
<b>4. 消費動向</b> <b>●百貨店・スーパー販売額</b> 11月の百貨店・スーパー販売額は1,335億円で前年同月比+1.8%と2か月連続の増加となった。百貨店は417億円で同+6.4%と2か月連続の増加、スーパーは918億円で同▲0.2%と2か月ぶりの減少となった。	<b>■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>133,492百万円</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>百貨店</td> <td>41,676百万円</td> <td>6.4</td> </tr> <tr> <td>スーパー</td> <td>91,816百万円</td> <td>▲0.2</td> </tr> </tbody> </table>				合計	133,492百万円	1.8	百貨店	41,676百万円	6.4	スーパー	91,816百万円	▲0.2						
合計	133,492百万円	1.8																	
百貨店	41,676百万円	6.4																	
スーパー	91,816百万円	▲0.2																	
<b>●コンビニエンスストア販売額</b> 11月のコンビニエンスストア販売額は、958億円で、前年同月比▲2.2%の減少となった。店舗数は5,556店となった。	<b>■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>販売額</td> <td>95,803百万円</td> <td>▲2.2</td> </tr> <tr> <td>店舗数</td> <td>5,556店</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>				販売額	95,803百万円	▲2.2	店舗数	5,556店	0.5									
販売額	95,803百万円	▲2.2																	
店舗数	5,556店	0.5																	
<b>●家電販売額</b> 11月の家電販売額は261億円で、前年同月比▲11.1%の減少となった。	<b>■家電販売額【九州経済産業局】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>販売額</td> <td>26,115百万円</td> <td>▲11.1</td> </tr> </tbody> </table>				販売額	26,115百万円	▲11.1												
販売額	26,115百万円	▲11.1																	
<b>●乗用車新車登録・届出台数</b> 11月の乗用車新車登録・届出台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車がか前年を下回り、乗用車全体で前年同月比▲15.0%と6か月連続の減少となった。	<b>■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>乗用車計</td> <td>30,197台</td> <td>▲15.0</td> </tr> <tr> <td>普通乗用車</td> <td>10,593台</td> <td>▲17.0</td> </tr> <tr> <td>小型乗用車</td> <td>7,718台</td> <td>▲6.9</td> </tr> <tr> <td>軽自動車</td> <td>11,886台</td> <td>▲17.8</td> </tr> </tbody> </table>				乗用車計	30,197台	▲15.0	普通乗用車	10,593台	▲17.0	小型乗用車	7,718台	▲6.9	軽自動車	11,886台	▲17.8			
乗用車計	30,197台	▲15.0																	
普通乗用車	10,593台	▲17.0																	
小型乗用車	7,718台	▲6.9																	
軽自動車	11,886台	▲17.8																	
<b>●家計調査 ※2018年1月分より一か月遅れの更新となります。</b> 10月の消費支出(二人以上の世帯)は257,784円で、前年同月比▲6.4%と2か月連続の減少となった。実収入(勤労者世帯)は、同▲2.5%と4か月ぶりの減少となった。	<b>■家計調査【総務省】(2021年10月)</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>消費支出(二人以上の世帯)</td> <td>257,784円</td> <td>(実質) ▲6.4</td> </tr> <tr> <td>実収入(勤労者世帯)</td> <td>502,075円</td> <td>(実質) ▲2.5</td> </tr> <tr> <td>平均消費性向(季調値、全国)</td> <td>65.4%</td> <td>▲1.2</td> </tr> </tbody> </table>				消費支出(二人以上の世帯)	257,784円	(実質) ▲6.4	実収入(勤労者世帯)	502,075円	(実質) ▲2.5	平均消費性向(季調値、全国)	65.4%	▲1.2						
消費支出(二人以上の世帯)	257,784円	(実質) ▲6.4																	
実収入(勤労者世帯)	502,075円	(実質) ▲2.5																	
平均消費性向(季調値、全国)	65.4%	▲1.2																	
<b>●賃金(現金給与総額)</b> 9月の賃金(5人以上の事業所)は、全産業では前年同月比+1.3%と10か月連続の増加、製造業は同+3.8%と9か月連続の増加となった。	<b>■賃金【各県】(2021年9月)</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>全産業</td> <td>240,056円</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>268,596円</td> <td>3.8</td> </tr> </tbody> </table>				全産業	240,056円	1.3	製造業	268,596円	3.8									
全産業	240,056円	1.3																	
製造業	268,596円	3.8																	
<b>5. 住宅建設動向</b> 11月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲が増加し、全体で前年同月比+28.5%と9か月連続の増加となった。	<b>■住宅建設動向【国土交通省】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>住宅着工計</td> <td>8,051戸</td> <td>28.5</td> </tr> <tr> <td>持家</td> <td>2,759戸</td> <td>7.1</td> </tr> <tr> <td>貸家</td> <td>2,918戸</td> <td>13.3</td> </tr> <tr> <td>分譲住宅</td> <td>2,332戸</td> <td>113.7</td> </tr> </tbody> </table>				住宅着工計	8,051戸	28.5	持家	2,759戸	7.1	貸家	2,918戸	13.3	分譲住宅	2,332戸	113.7			
住宅着工計	8,051戸	28.5																	
持家	2,759戸	7.1																	
貸家	2,918戸	13.3																	
分譲住宅	2,332戸	113.7																	
<b>6. 物価動向</b> 11月の消費者物価指数(九州)は、100.0で前年同月比+0.3%と14か月ぶりの上昇(前月比+0.1%)となった。国内企業物価指数は、108.7で前年同月比+9.0%と9か月連続の上昇(前月比+0.6%)となった。	<b>■物価動向【日本銀行・総務省】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>消費者物価指数(九州)</td> <td>100.0</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>企業物価指数(全国)</td> <td>108.7</td> <td>0.6</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table>				消費者物価指数(九州)	100.0	0.1	0.3	企業物価指数(全国)	108.7	0.6	9.0							
消費者物価指数(九州)	100.0	0.1	0.3																
企業物価指数(全国)	108.7	0.6	9.0																
<b>7. 雇用動向</b> 11月の有効求人倍率は前月比横ばいの1.18倍、新規求人倍率は同横ばいの2.02倍となった。	<b>■雇用動向【九州各労働局】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>有効求人倍率(季調値)</td> <td>1.18倍</td> <td>0.00</td> <td>0.13</td> </tr> <tr> <td>新規求人倍率(季調値)</td> <td>2.02倍</td> <td>0.00</td> <td>0.14</td> </tr> </tbody> </table>				有効求人倍率(季調値)	1.18倍	0.00	0.13	新規求人倍率(季調値)	2.02倍	0.00	0.14							
有効求人倍率(季調値)	1.18倍	0.00	0.13																
新規求人倍率(季調値)	2.02倍	0.00	0.14																
<b>8. 公共投資動向</b> 11月の公共工事請負金額は、前年と比較し、独立行政法人等が増加したものの、国、県、市町村が減少し、全体で前年同月比▲11.3%と2か月ぶりの減少となった。	<b>■公共投資動向[工事請負]【西日本建設業保証㈱】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>請負金額</td> <td>96,847百万円</td> <td>▲11.3</td> </tr> </tbody> </table>				請負金額	96,847百万円	▲11.3												
請負金額	96,847百万円	▲11.3																	
<b>9. 企業倒産動向</b> 11月の倒産件数は前年同月比▲17.8%と2か月ぶりの減少、負債金額も同▲7.6%と2か月ぶりの減少となった。	<b>■企業倒産動向【㈱東京商工リサーチ福岡支社】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>倒産件数</td> <td>37件</td> <td>▲17.8</td> </tr> <tr> <td>負債金額</td> <td>4,981百万円</td> <td>▲7.6</td> </tr> </tbody> </table>				倒産件数	37件	▲17.8	負債金額	4,981百万円	▲7.6									
倒産件数	37件	▲17.8																	
負債金額	4,981百万円	▲7.6																	

(注) ・「1.生産動向」の指数は季調値、ただし前年比は原数値で比較。 ・「4.消費動向」中、消費支出・実収入の前年比は、算出にあたって消費者物価指数(総務省)により実質化。また、平均消費性向は前年差で表記。

# 九 経 サ マ リ ー

— 最近の九州経済の動向について —

2022年1月17日  
九州経済産業局

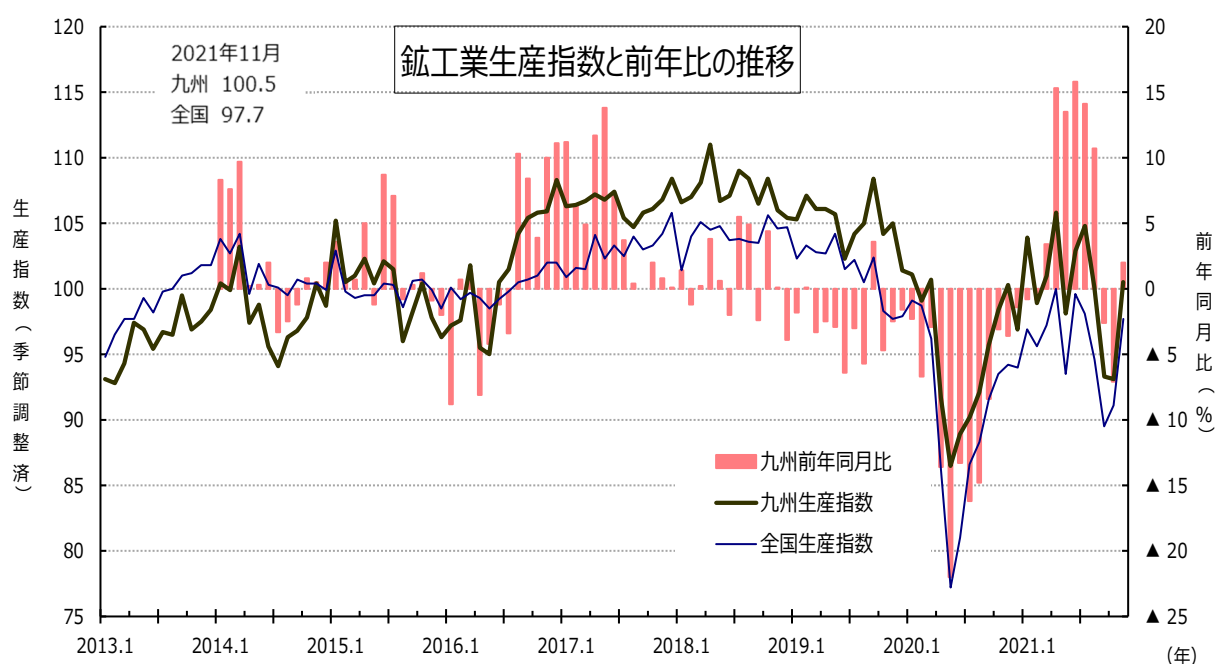
## 1. 生産動向

### (1) 全体

2021年11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は100.5となり、前月比が+7.9%と4か月ぶりの上昇、前年同月比は+2.0%と3か月ぶりの上昇となった。

	九州				全国			
	季節調整済指数		原指数		季節調整済指数		原指数	
	前月比 %		前年同月比 %		前月比 %		前年同月比 %	
生産	100.5	7.9	105.5	2.0	97.7	7.2	100.4	5.4
出荷	92.4	7.7	99.4	▲ 3.2	95.3	7.4	97.3	3.5
在庫	96.9	0.3	96.5	▲ 2.7	100.4	1.7	100.4	5.2
在庫率	99.5	▲ 12.6	106.0	▲ 65.9	116.1	▲ 2.6	113.5	0.4

▲印は低下を示す。(2015年=100)

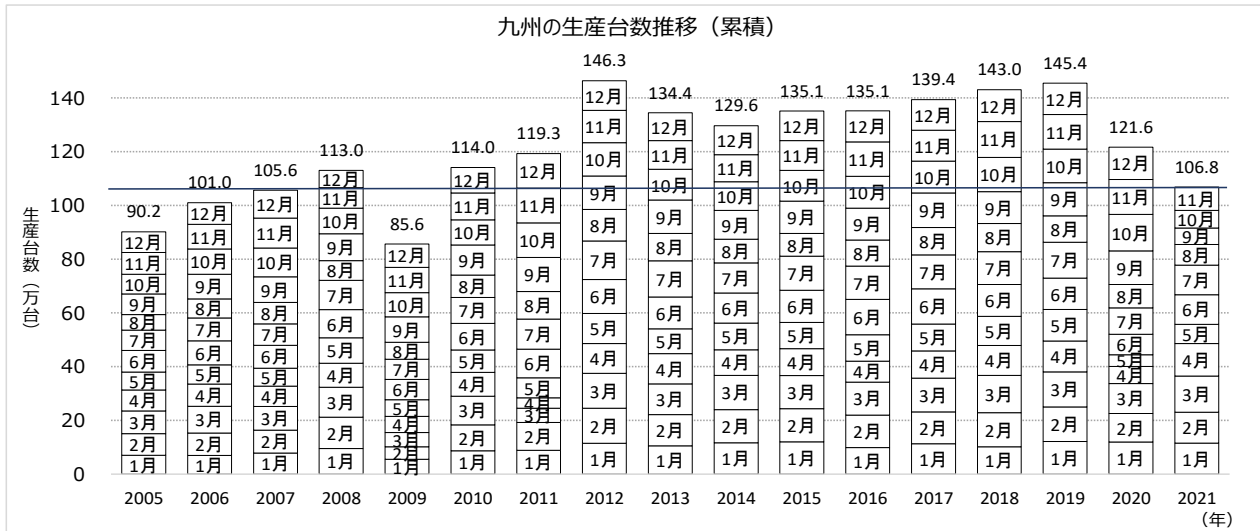


【生産】前月比 7.9 % 4か月ぶり上昇（全13業種中 上昇10業種、低下2業種、横ばい1業種）

	主な上昇・低下業種/ウエイト	前年 同月比	前月比		主な上昇・低下品目
			前月	今月	
上昇	電子部品・デバイス工業	1,359.4	13.4	4.0	17.7 半導体集積回路（CCD・その他）、半導体集積回路（マイコン）等
	輸送機械工業	1,351.7	▲23.8	10.1	23.3 普通乗用車、軽・小型乗用車 等
	汎用・生産用・業務用機械工業	1,216.8	15.8	▲12.8	14.0 半導体製造装置、金型 等
	鉄鋼・非鉄金属工業	770.7	5.5	▲2.5	3.8 鋳鍛造品、鉄素製品（含.鋼半製品）等
低下	パルプ・紙・紙加工品工業	190.1	▲4.8	3.3	▲9.6 製紙パルプ、衛生用紙 等

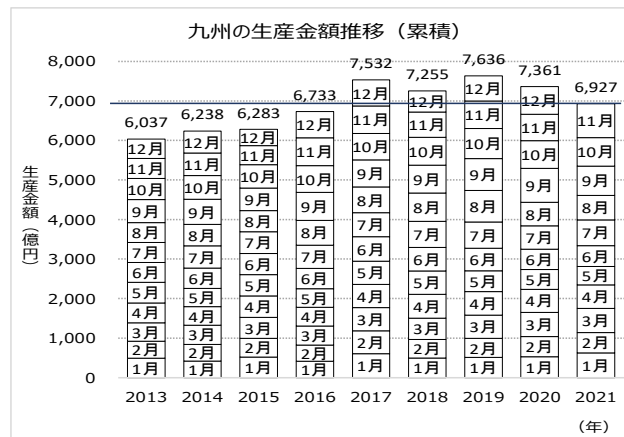
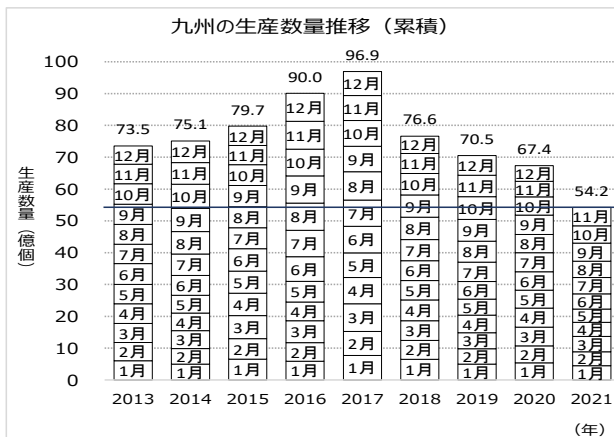
## (2) 四輪自動車生産動向

生産台数は86,407台と、前月比+31.0%、前年同月比▲33.4%となった。



## (3) IC生産動向

生産は、数量で5億7,575万個と、前月比+6.1%、前年同月比+18.6%となった。  
金額で853億7,800万円と、前月比+17.8%、前年同月比+28.6%となった。



## 2. 設備投資動向

設備投資額(含む土地投資額)(九州・沖縄) (前年度比、%)

	20年度		21年度 (計画)	
		修正率		修正率
製造業	▲ 13.1	-	34.2	0.4
非製造業 (除 電気・ガス)	▲ 19.8	-	21.3	2.4
全産業 (除 電気・ガス)	▲ 15.6	-	29.6	1.0
(参考)全国全産業	▲ 8.5	-	7.9	0.0

(注1)ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

(注2)修正率(%)は前回調査との対比。

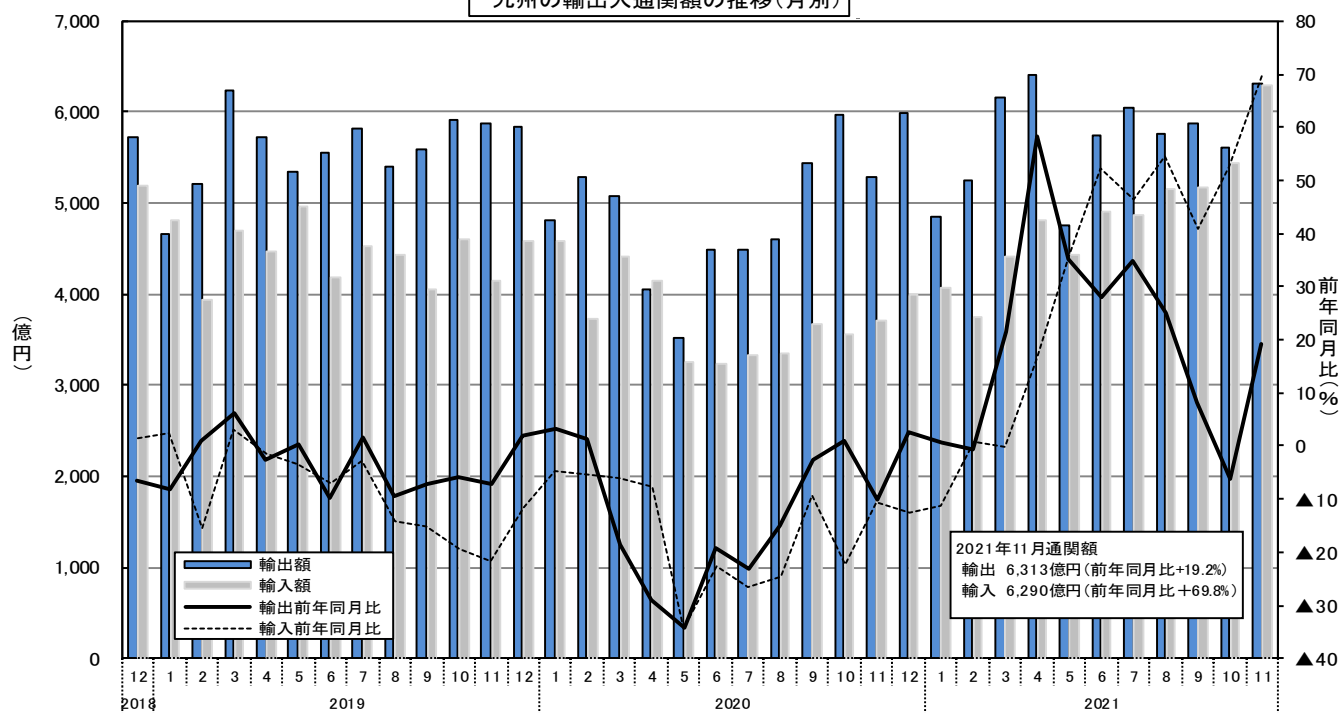
出所:日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」12月

## 3. 貿易動向

11月		金額	前年同月比		全国シェア
輸出	九州	6,313億円	+ 19.2%	2か月ぶりの増加	8.6%
	全国	7兆3,671億円	+ 20.5%	9か月連続の増加	-
輸入	九州	6,290億円	+ 69.8%	8か月連続の増加	7.6%
	全国	8兆3,227億円	+ 43.8%	10か月連続の増加	-
貿易収支	九州	+ 23億円	-	19か月連続の貿易黒字	-
	全国	▲9,556億円	-	4か月連続の貿易赤字	-

		2019年	2020年	2020年	2021年	2021年					
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月
輸出通関額(円)	九州	▲ 3.3	▲ 12.2	▲ 2.2	7.2	40.3	21.8	25.2	8.2	▲ 6.3	R 19.2
	前年比:%	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 0.8	6.0	45.0	24.9	26.2	13.0	9.4	R 20.5
輸入通関額(円)	九州	▲ 9.3	▲ 15.8	▲ 15.4	▲ 3.8	33.2	47.1	54.5	40.8	R 52.6	P 69.8
	前年比:%	▲ 5.0	▲ 13.5	▲ 11.4	1.9	23.6	36.8	44.5	38.3	R 26.8	P 43.8
対アジア	輸出	▲ 0.8	▲ 4.1	2.7	11.9	32.2	9.9	13.6	▲ 4.7	▲ 4.0	R 30.2
	前年比:%	▲ 6.7	▲ 10.5	▲ 1.9	11.9	28.3	27.4	35.5	24.0	R 16.2	P 24.2
為替レート(¥/\$) (期中平均)		109.01	106.78	104.49	105.90	109.48	110.10	109.84	110.17	113.10	114.13
原油輸入価格 (CIFベース\$/B)		66.79	47.14	43.84	55.87	66.95	73.21	73.78	73.86	R 76.88	P 82.07

九州の輸出入通関額の推移(月別)



出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※( )内は前年同月比
増加	鉄鋼のフラットロール製品	632	+ 83.8%	13か月連続	+5.4%	ASEAN(+73.2%)、韓国(+305.2%)、中国(+64.6%)、アメリカ(+709.5%)、EU(+571.2%)、台湾(+25.6%)、香港(+127.6%)等が増加。中東(▲34.7%)等が減少。
増加	半導体等電子部品	975	+ 34.7%	5か月連続	+4.7%	ASEAN(+45.1%)、韓国(+98.4%)、中国(+44.0%)、台湾(+6.6%)、アメリカ(+3904.1%)等が増加。香港(▲13.9%)、EU(▲62.8%)等が減少。
増加	ゴムタイヤ及びチューブ	241	+ 64.8%	9か月連続	+1.8%	アメリカ(+35.9%)、EU(+52.6%)、中東(+18.9%)、ASEAN(+103.8%)、中国(+90.7%)等が増加。韓国(▲36.8%)、台湾(▲27.0%)、香港(▲3.2%)等が減少。
増加	有機化合物	204	+ 29.0%	8か月連続	+0.9%	中国(+115.8%)、ASEAN(+73.8%)、台湾(+54.4%)、EU(+48.2%)等が増加。韓国(▲40.0%)、アメリカ(▲28.6%)、中東(▲22.8%)、香港(▲86.3%)等が減少。
増加	半導体等製造装置	193	+ 0.2%	7か月ぶり	+0.0%	韓国(+68.8%)、台湾(+72.6%)、アメリカ(+1218.0%)、ASEAN(+55.6%)、中東(+196.5%)等が増加。中国(▲38.8%)、EU(▲53.8%)、香港(▲100.0%)等が減少。
減少	自動車	1,025	▲ 27.8%	3か月連続	▲7.5%	EU(+29.9%)等が増加。中国(▲9.6%)、アメリカ(▲56.9%)、台湾(▲21.4%)、韓国(▲5.5%)、中東(▲73.7%)、ASEAN(▲62.2%)、香港(▲51.2%)等が減少。
減少	船舶類	193	▲ 23.2%	2か月連続	▲1.1%	韓国(+1153.7%)等が増加。ASEAN(▲52.2%)等が減少。

輸入	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
増加	原油及び粗油	1,341	+192.5%	7か月連続	+23.8%	2,286千KL	+ 34.7%	2か月連続
増加	液化天然ガス	168	+105.0%	2か月連続	+2.3%	2,775百MT	+ 19.2%	5か月ぶり

輸出	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要品目の動き ※( )内は前年同月比
増加	大韓民国	1,066	+ 92.7%	16か月連続	+9.7%	半導体等電子部品(+98.4%)、鉄鋼のフラットロール製品(+305.2%)、半導体等製造装置(+68.8%)、船舶類(+1153.7%)等が増加。自動車(▲5.5%)、有機化合物(▲40.0%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲36.8%)等が減少。
増加	ASEAN	1,287	+ 51.8%	9か月連続	+8.3%	半導体等電子部品(+45.1%)、鉄鋼のフラットロール製品(+73.2%)、有機化合物(+73.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+103.8%)、半導体等製造装置(+55.6%)等が増加。船舶類(▲52.2%)、自動車(▲62.2%)等が減少。
増加	台湾	419	+ 38.2%	11か月連続	+2.2%	半導体等電子部品(+6.6%)、半導体等製造装置(+72.6%)、有機化合物(+54.4%)、鉄鋼のフラットロール製品(+25.6%)等が増加。自動車(▲21.4%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲27.0%)等が減少。
増加	EU	319	+ 34.3%	2か月ぶり	+1.5%	ゴムタイヤ及びチューブ(+52.6%)、鉄鋼のフラットロール製品(+571.2%)、有機化合物(+48.2%)、自動車(+29.9%)等が増加。半導体等電子部品(▲62.8%)、半導体等製造装置(▲53.8%)等が減少。
増加	中華人民共和国	1,493	+ 1.0%	4か月ぶり	+0.3%	有機化合物(+115.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(+64.6%)、半導体等電子部品(+44.0%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+90.7%)等が増加。自動車(▲9.6%)、半導体等製造装置(▲38.8%)等が減少。
減少	アメリカ合衆国	612	▲ 17.1%	2か月連続	▲2.4%	ゴムタイヤ及びチューブ(+35.9%)、鉄鋼のフラットロール製品(+709.5%)、半導体等製造装置(+1218.0%)、半導体等電子部品(+3904.1%)等が増加。自動車(▲56.9%)、有機化合物(▲28.6%)等が減少。
減少	中東	80	▲ 42.1%	2か月連続	▲1.1%	ゴムタイヤ及びチューブ(+18.9%)、半導体等製造装置(+196.5%)等が増加。自動車(▲73.7%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲34.7%)、有機化合物(▲22.8%)等が減少。
減少	香港	242	▲ 11.9%	2か月ぶり	▲0.6%	鉄鋼のフラットロール製品(+127.6%)等が増加。半導体等電子部品(▲13.9%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲3.2%)、自動車(▲51.2%)、有機化合物(▲86.3%)、半導体等製造装置(▲100.0%)等が減少。

輸入	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	中東	1,287	+277.7%	7か月連続	+25.5%
増加	EU	553	+426.7%	9か月連続	+12.1%
増加	オーストラリア	755	+133.3%	8か月連続	+11.6%
増加	中華人民共和国	1,007	+ 23.3%	10か月連続	+5.1%
増加	ロシア	272	+143.3%	6か月連続	+4.3%
増加	ASEAN	706	+ 17.6%	10か月連続	+2.9%
増加	大韓民国	205	+ 2.1%	9か月連続	+0.1%
増加	ナイジェリア	5	+555.0%	6か月連続	+0.1%
減少	ペルー	10	▲ 88.2%	3か月ぶり	▲2.0%
減少	アメリカ合衆国	271	▲ 16.8%	6か月ぶり	▲1.5%

## 4. 消費動向

### (1)百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	合 計		百貨店		スーパー	
	販売額	前年同月比 全店 (既存店)	販売額	前年同月比 全店 (既存店)	販売額	前年同月比 全店 (既存店)
全 国	1,707,487	1.7 (1.4)	497,538	7.5 (8.1)	1,209,949	▲ 0.4 (▲ 1.1)
九州計	133,492	1.8 (1.4)	41,676	6.4 (6.4)	91,816	▲ 0.2 (▲ 0.7)
衣料品	28,963	4.9 (5.2)	18,093	8.6 (8.6)	10,870	▲ 0.7 (▲ 0.1)
飲食料品	69,292	1.8 (1.2)	12,587	8.3 (8.3)	56,705	0.5 (▲ 0.2)
その他	35,237	▲ 0.8 (▲ 1.2)	10,995	1.0 (1.0)	24,242	▲ 1.6 (▲ 2.2)

【注】九州計の数値は沖縄を含む

	品 目	寄与度 (全店)	主 な 動 き (全店)	前年同月比(%)	
				全店	既存店
百貨店	合計	6.4	新型コロナウイルス感染者数の減少による入店客数の増加により衣料品や飲食料品の動きが良かったことなどから2か月連続の増加となった。	6.4	6.4
	衣料品計	3.7	気温低下により冬物衣料を中心に動きがみられたことや紳士服の動きが良かったことなどから2か月連続の増加となった。	8.6	8.6
	飲食料品	2.5	新型コロナウイルス感染者数の減少による入店客数の増加や食品催事の実施などにより3か月連続の増加となった。	8.3	8.3
	その他計	0.3	時計などの高額品に動きがみられたことなどから2か月連続の増加となった。	1.0	1.0
スーパー	合計	▲ 0.2	内食需要や気温低下により鍋商材をはじめとする飲食料品に動きはみられたものの化粧品や衛生用品の動きが鈍かったことなどにより2か月ぶりの減少となった。	▲ 0.2	▲ 0.7
	衣料品計	▲ 0.1	気温低下と外出機会の増加により冬物衣料の需要はみられたものの全般的に動きが鈍く6か月連続の減少となった。	▲ 0.7	▲ 0.1
	飲食料品	0.3	内食需要により惣菜に動きがみられたことに加え気温低下による鍋物需要から野菜を中心に動きがみられたことなどにより3か月連続の増加となった。	0.5	▲ 0.2
	その他計	▲ 0.4	医薬品や化粧品に加え衛生用品の動きが鈍く2か月ぶりの減少となった。	▲ 1.6	▲ 2.2

### (2)コンビニエンスストア、専門量販店

(単位：百万円、店、%)

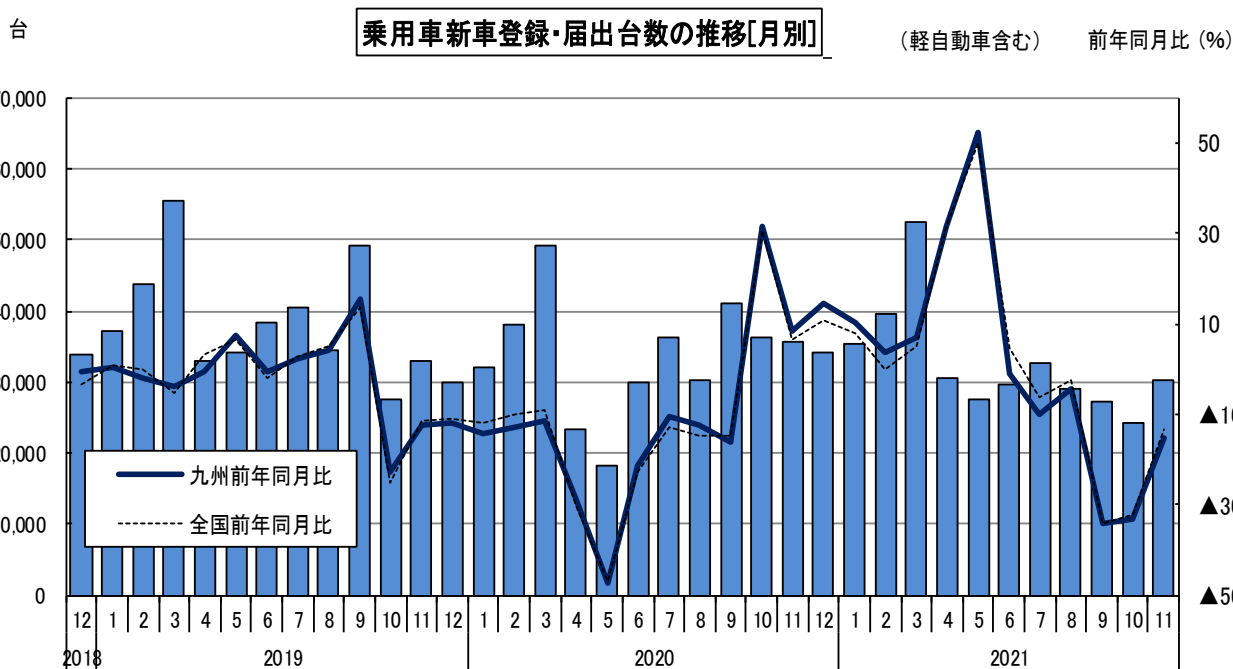
	九 州				全 国			
	販売額	前年比	店舗数	前年比	販売額	前年比	店舗数	前年比
コンビニエンスストア	95,803	▲ 2.2	5,556	0.5	957,229	▲ 1.0	56,354	0.4
全国比	10.0	—	9.9	—	—	—	—	—
家電大型専門店	26,115	▲ 11.1	319	4.9	357,891	▲ 10.6	2,625	2.5
全国比	7.3	—	12.2	—	—	—	—	—
ドラッグストア	54,816	▲ 3.6	1,447	▲ 5.9	592,169	1.3	17,547	3.5
全国比	9.3	—	8.2	—	—	—	—	—
ホームセンター	28,216	▲ 4.8	549	1.3	271,455	▲ 3.8	4,373	▲ 1.0
全国比	10.4	—	12.6	—	—	—	—	—



### (3) 乗用車新車登録・届出台数動向

11月	九州			全国		
	台数(台)	前年同月比		台数(台)	前年同月比	
全体	30,197台	▲ 15.0%	6か月連続	290,985台	▲ 13.5%	5か月連続
普通	10,593台	▲ 17.0%	3か月連続	111,670台	▲ 18.6%	3か月連続
小型	7,718台	▲ 6.9%	6か月連続	76,373台	▲ 5.9%	6か月連続
軽	11,886台	▲ 17.8%	6か月連続	102,942台	▲ 12.7%	6か月連続

		2019年	2020年	2020年	2021年		2021年				
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月
九州	全体	▲ 1.9	▲ 11.4	17.6	6.9	23.0	▲ 17.6	▲ 4.2	▲ 33.9	▲ 33.3	▲ 15.0
	普通乗用車	1.6	▲ 13.0	29.3	20.4	46.1	▲ 3.0	13.7	▲ 25.9	▲ 34.0	▲ 17.0
	小型乗用車	▲ 6.1	▲ 9.9	4.0	▲ 14.0	▲ 7.3	▲ 22.3	▲ 4.0	▲ 46.4	▲ 36.5	▲ 6.9
	軽自動車	▲ 1.6	▲ 11.1	17.5	12.0	30.4	▲ 24.9	▲ 16.0	▲ 32.5	▲ 30.7	▲ 17.8
全国	全体	▲ 2.0	▲ 11.5	15.3	4.2	25.0	▲ 16.4	▲ 2.5	▲ 34.3	▲ 32.3	▲ 13.5
	普通乗用車	0.2	▲ 13.6	24.6	15.8	47.0	▲ 4.3	12.3	▲ 26.6	▲ 29.7	▲ 18.6
	小型乗用車	▲ 5.9	▲ 10.4	3.0	▲ 13.3	▲ 4.0	▲ 20.4	▲ 6.7	▲ 41.7	▲ 35.4	▲ 5.9
	軽自動車	▲ 1.1	▲ 10.0	15.7	7.9	32.1	▲ 25.0	▲ 12.8	▲ 37.0	▲ 32.5	▲ 12.7



出所: 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

#### (4) 家計調査動向

(二人以上の世帯)

10月	名 目		実質/前年同月比	
消費支出	九州	25万7,784円	▲ 6.4%	2か月連続
	全国	28万1,996円	▲ 0.6%	3か月連続

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

10月	名 目		実質/前年同月比	
実収入	九州	50万2,075円	▲ 2.5%	4か月ぶり
	全国	54万9,269円	+ 0.4%	3か月連続

出所:総務省「家計調査報告」

#### (5) 賃 金 (現金給与総額)

9月九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
全産業	24万0,056円	+ 1.3%	10か月連続	8.7時間	+ 3.0%	6か月連続
製造業	26万8,596円	+ 3.8%	9か月連続	13.7時間	+ 17.2%	7か月連続

5人以上規模・全国製造業入り

毎月勤労統計		2019年	2020年	2020年	2021年			2021年			
				10~12	1~3	4~6	7~9	7月	8月	9月	10月
九州 全産業	5人以上	▲ 1.7	0.1	0.1	1.6	1.8	1.2	1.8	0.4	1.3	-
		▲ 3.6	▲ 2.4	▲ 4.0	5.7	3.3	3.9	5.6	2.2	3.8	-
全国 全産業	5人以上	▲ 0.4	▲ 1.2	▲ 2.1	▲ 0.3	1.0	0.5	0.6	0.6	0.2	0.2
		▲ 0.3	▲ 3.4	▲ 3.8	0.6	3.3	2.1	1.8	2.7	1.8	1.1

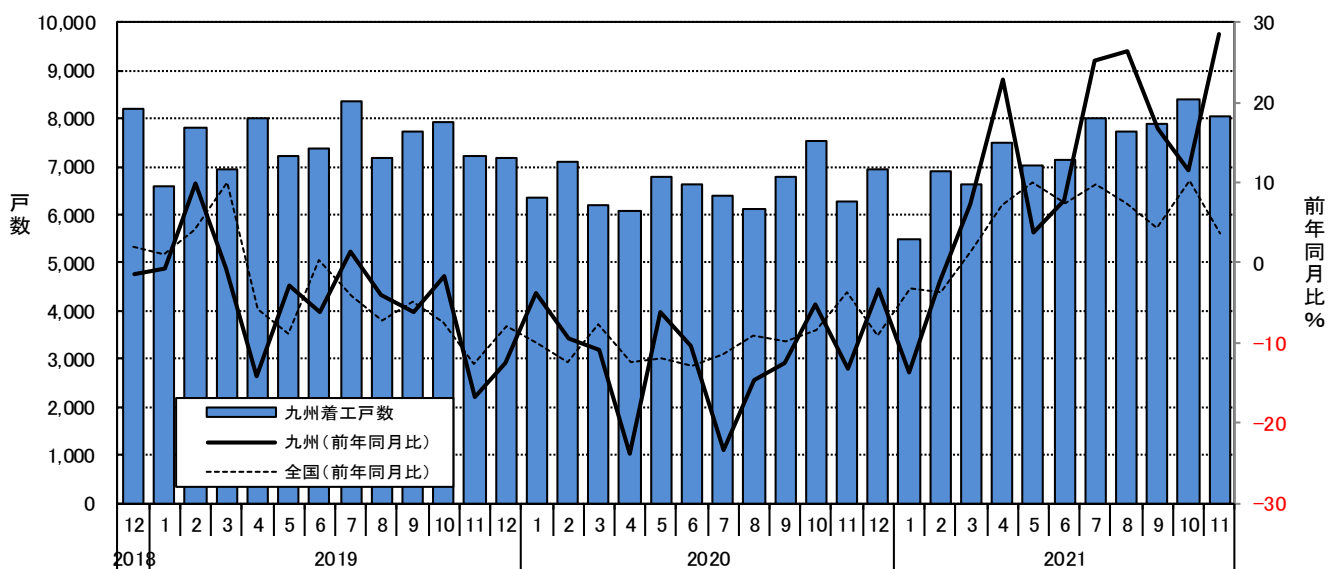
出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

## 5. 住宅建設動向

11月				
九州	戸数(戸)	前年同月比(%)		
総数	8,051戸	+ 28.5%	9か月連続	
持家	2,759戸	+ 7.1%	9か月連続	
貸家	2,918戸	+ 13.3%	6か月連続	
分譲	2,332戸	+113.7%	10か月連続	
全国	戸数(戸)	前年同月比(%)		
総数	73,414戸	+ 3.7%	9か月連続	
持家	25,329戸	+ 5.5%	13か月連続	
貸家	26,819戸	+ 1.4%	9か月連続	
分譲	20,813戸	+ 6.5%	2か月連続	

項目		2019年	2020年	2020年	2021年			2021年			
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月
新設住宅着工戸数	九州	▲ 5.0	▲ 11.6	▲ 7.2	▲ 3.0	11.1	22.6	26.5	16.8	11.5	28.5
	全国	▲ 4.0	▲ 9.9	▲ 7.0	▲ 1.6	8.1	7.2	7.5	4.3	10.4	3.7
前年比:%	持家	九州 ▲ 1.2	▲ 12.6	▲ 5.0	▲ 0.6	11.8	19.0	14.4	14.1	17.8	7.1
	全国	1.9	▲ 9.6	▲ 0.9	3.4	11.7	14.7	14.5	14.9	16.6	5.5
貸家	九州	▲ 11.5	▲ 9.5	▲ 6.8	▲ 11.0	2.3	18.6	25.7	11.3	13.6	13.3
	全国	▲ 13.7	▲ 10.4	▲ 10.4	▲ 5.1	10.0	7.2	3.8	12.8	14.5	1.4
分譲住宅	九州	2.9	▲ 13.2	▲ 12.1	9.2	28.2	37.1	58.3	31.6	1.8	113.7
	全国	4.9	▲ 10.2	▲ 11.4	▲ 1.9	2.1	▲ 0.3	5.3	▲ 14.9	0.6	6.5

住宅着工戸数の推移(月別)



出所: 国土交通省「建築着工統計調査」

## 6. 物価動向

11月	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	100.0	+ 0.1%	2か月ぶり	0.3%	14か月ぶり
11月	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	100.1	+ 0.2%	2か月ぶり	+ 0.6%	3か月連続

11月	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	108.7	+ 0.6%	12か月連続	+ 9.0%	9か月連続
	輸出物価指数(円ベース)	103.5	+ 0.9%	3か月連続	+ 15.0%	10か月連続
	輸入物価指数(円ベース)	119.3	+ 4.9%	13か月連続	+ 44.3%	9か月連続

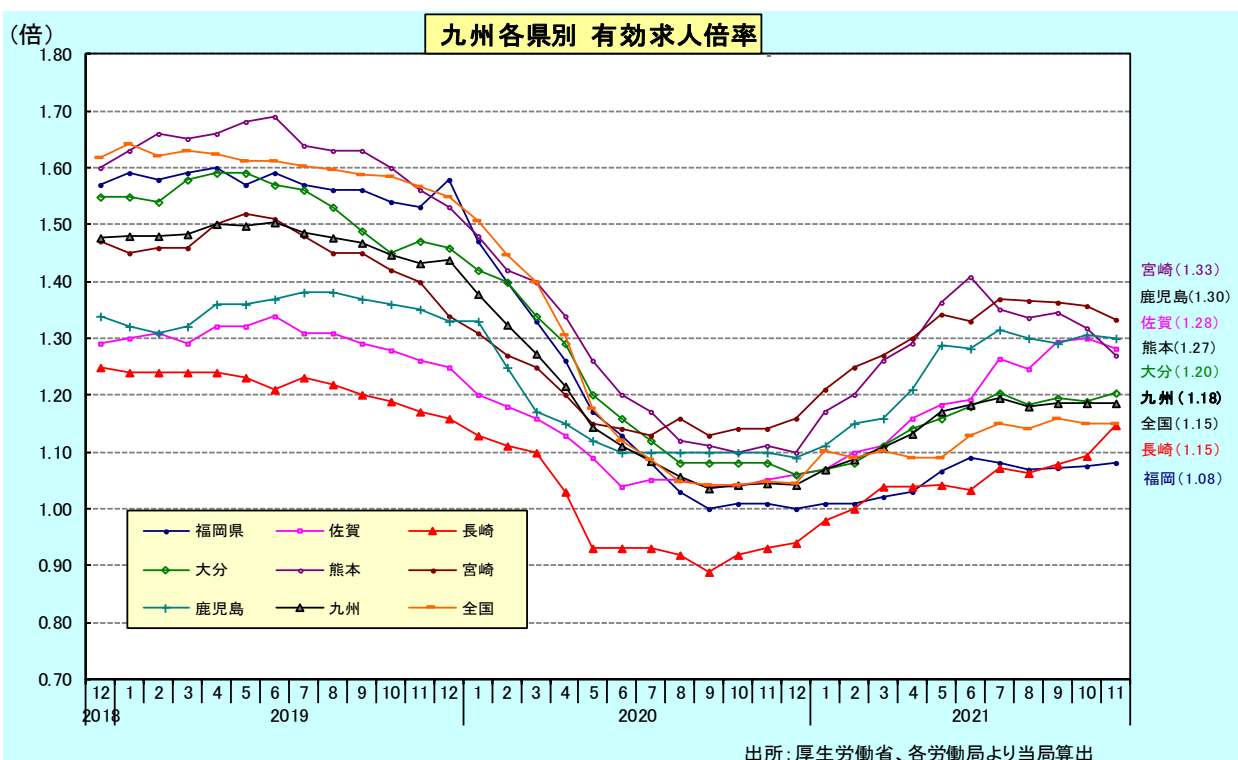
出所:総務省「消費者物価指数」(2020年基準)、日本銀行「企業物価指数」(2015年基準)

## 7. 雇用動向

項目		2019年	2020年	2020年	2021年		2021年				
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月
有効求人倍率	九州	1.47	1.14	1.04	1.09	1.16	1.19	1.18	1.18	1.18	1.18
	全国	1.60	1.18	1.04	1.10	1.10	1.15	1.14	1.16	1.15	1.15
新規求人倍率	九州	2.15	1.83	1.88	1.90	1.94	1.99	1.98	2.04	2.02	2.02
	全国	2.42	1.95	2.00	1.97	1.99	2.02	1.97	2.10	2.08	2.13

(注1)月次と求人倍率の四半期は季節調整済値による

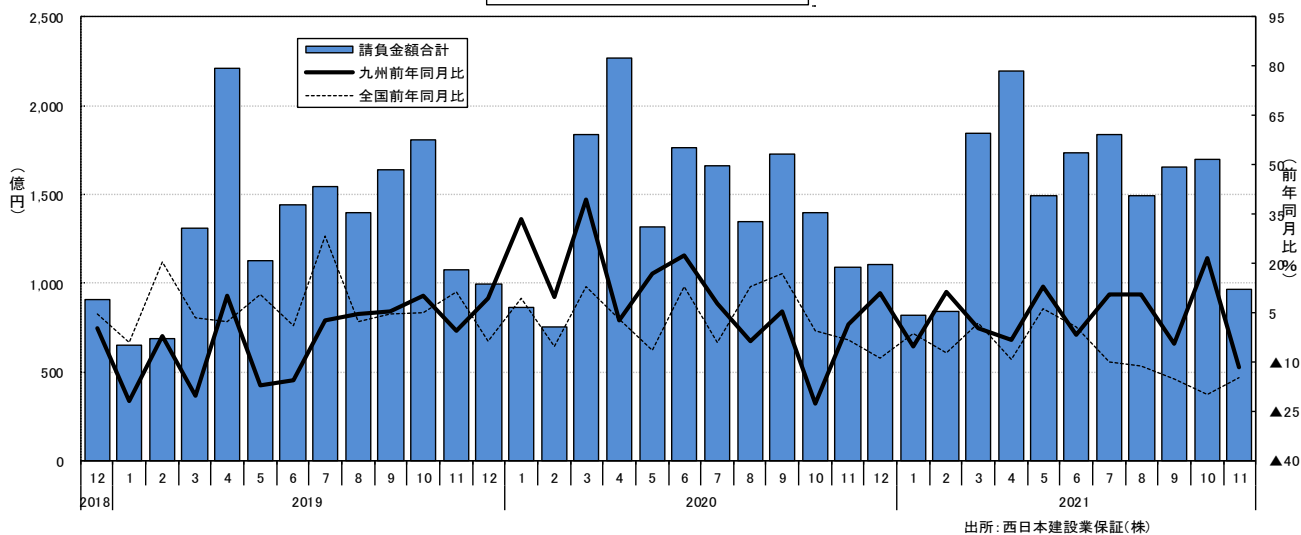
出所:厚生労働省、各労働局資料より当局算出



## 8. 公共投資動向

11月	請負額	前年同月比		前年同月比				
				国	独立行政法人	県	市町村	その他
九州	968億円	▲ 11.3%	2か月ぶり	▲ 56.9%	+114.7%	▲ 0.3%	▲ 2.6%	+ 4.9%
全国	7,534億円	▲ 14.5%	5か月連続	▲ 37.3%	▲ 12.4%	▲ 6.6%	▲ 12.8%	+ 1.7%

公共工事保証実績の推移(月別)

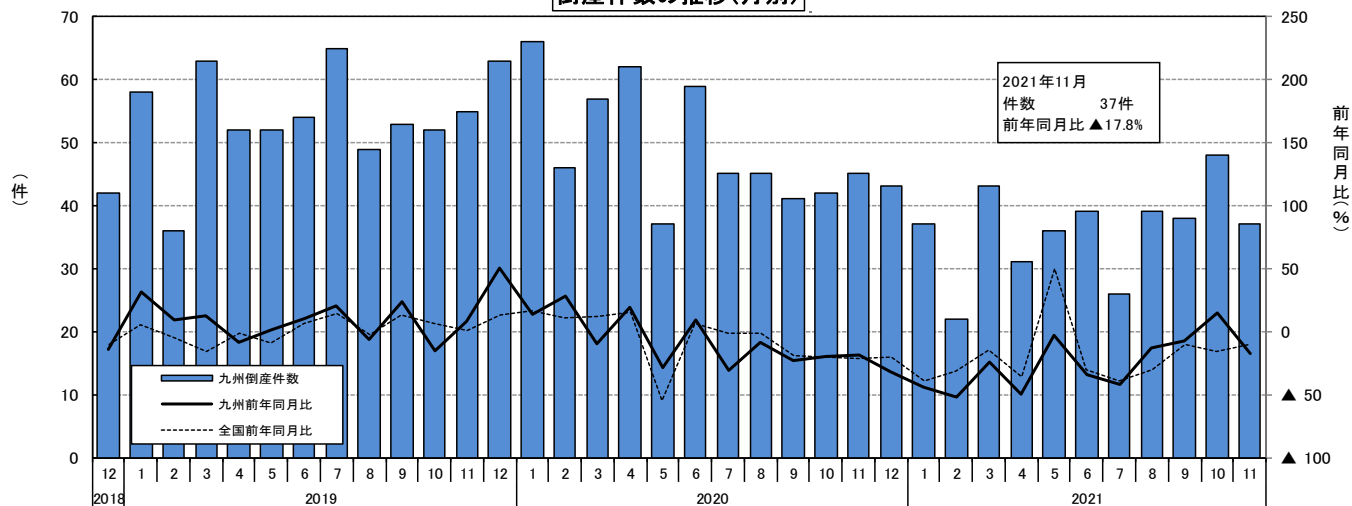


## 9. 企業倒産動向

11月		前年同月比	
倒産件数	九州	37件	▲ 17.8%
	全国	510件	▲ 10.4%
負債総額	九州	49.8億円	▲ 7.6%
	全国	941.0億円	▲ 7.8%

11月	業種別	前年同月比	
倒産件数	製造	1件	▲ 88.9%
	卸・小売	14件	+ 7.7%
	建設	8件	0.0%
	その他	14件	▲ 6.7%

倒産件数の推移(月別)



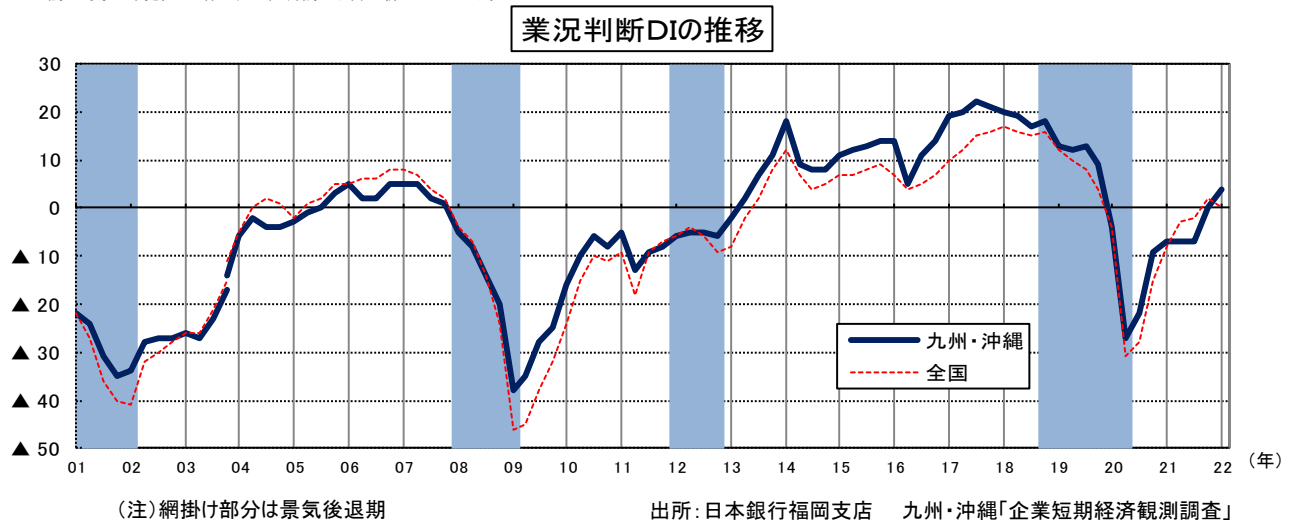
## (参考)業況判断

### (1) 日本銀行「企業短期経済観測調査」

日銀短観(12月調査)によると、九州・沖縄の業況判断DIは、製造業DIは1(前回調査比+4ポイント)、非製造業は▲1(同+9ポイント)、全産業で0(同+7ポイント)となった。次回予測(22年3月)の数値は、製造業は8(12月比+7ポイント)、非製造業は2(同+3ポイント)、全産業で4(同+4ポイント)と予測。

		2019年		2020年				2021年				2022年
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
業況判断DI	九州・沖縄	13	9	▲4	▲27	▲22	▲9	▲7	▲7	▲7	0	4
	全国	8	4	▲4	▲31	▲28	▲15	▲8	▲3	▲2	2	0
製造業	九州・沖縄	2	▲2	▲5	▲31	▲29	▲13	▲4	▲2	▲3	1	8
	全国	▲1	▲4	▲12	▲39	▲37	▲20	▲6	2	5	6	4
非製造業	九州・沖縄	18	14	▲4	▲24	▲19	▲6	▲8	▲9	▲10	▲1	2
	全国	14	11	1	▲25	▲21	▲11	▲9	▲7	▲7	0	▲2

※調査対象企業見直しに伴い、27年3月調査以降は新ベースデータ。



### (2) 中小企業庁「中小企業景況調査」

中小企業景況調査(2021年10-12月期)によると、九州・沖縄における中小企業の業況判断DI(前期比季調値)は全産業で▲22.2と前期から+6.7ポイントの上昇となった。

業況判断DI (前期比季調値)		2019年		2020年			2021年				
		7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
全産業	九州・沖縄	▲13.9	▲19.8	▲19.1	▲60.7	▲34.1	▲24.1	▲28.7	▲28.2	▲28.9	▲22.2
	全国	▲17.2	▲24.4	▲23.1	▲63.0	▲34.0	▲27.1	▲29.5	▲25.8	▲28.4	▲23.3
製造業	九州・沖縄	▲15.1	▲22.0	▲19.8	▲66.2	▲35.5	▲27.6	▲21.6	▲22.5	▲20.8	▲22.6
	全国	▲17.0	▲25.3	▲26.7	▲65.2	▲39.9	▲29.5	▲25.0	▲17.2	▲17.5	▲19.7
非製造業	九州・沖縄	▲13.7	▲19.3	▲18.7	▲58.9	▲34.0	▲23.3	▲30.5	▲29.4	▲32.5	▲22.1
	全国	▲16.9	▲24.1	▲22.0	▲62.4	▲31.9	▲26.5	▲31.2	▲28.8	▲32.1	▲24.6

